

身体障害者診断書・意見書（呼吸器機能障害用）

総括表

氏 名	年 月 日 生 () 歳	男 ・ 女
住 所		
① 障害名（部位を明記）		
② 原因となった 疾病・外傷名		交通・労災・その他の事故・戦傷・戦災 自然災害・疾病・先天性・その他（ ）
③ 疾病・外傷発生年月日		年 月 日・場 所
④ 参考となる経過及び現症（エックス線写真及び検査所見を含む。）		
障害固定又は障害確定（推定） 年 月 日		
⑤ 総合所見		
		[軽減化による再認定 要 ・ 不要] [再認定の時期 年 月]
⑥ その他参考となる合併症状		
上記のとおり診断し、併せて以下の意見を付します。 年 月 日 病院又は診療所の名称 電 話（ ） 所 在 地 診療担当科名 科 医師氏名		
身体障害者福祉法第15条第3項の意見 障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に ・該当する（ 級相当 ） ・該当しない ※「該当する」「該当しない」の選択及び意見等級は、必ず記入してください。		
注 1 障害名には、現在起こっている障害、例えば両眼視力障害、両耳ろう、右上下肢麻痺、心臓機能障害等を記入し、原因となった疾病には、緑内障、先天性難聴、脳卒中、僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入してください。 2 総合所見には、今後の症状変動の可能性（重度化・軽減化）や、軽減化による再認定の必要性（必要な場合はその時期）も必ず記入してください。 3 障害区分や等級決定のため、改めて身体障害者診断書・意見書の記入内容について問い合わせる場合があります。 4 程度変更に伴う再申請については、新しく追加となる障害内容の記入のみではなく、現在の手帳の障害内容についても障害が存在していれば、併せて診断書に記入してください。		

(該当するものを○で囲んでください。)

1 身体計測

身長 cm 体重 kg

2 活動能力の程度

ア 激しい運動をした時だけ息切れがある。

イ 平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。

ウ 息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることがある。

エ 平坦な道を約100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。

オ 息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。

3 胸部エックス線写真所見 (年 月 日)

ア 胸 膜 癒 着 (無 ・ 軽 度 ・ 中 等 度 ・ 高 度)

イ 気 腫 化 (無 ・ 軽 度 ・ 中 等 度 ・ 高 度)

ウ 線 維 化 (無 ・ 軽 度 ・ 中 等 度 ・ 高 度)

工 不 透 明 肺 (無 ・ 軽 度 ・ 中 等 度 ・ 高 度)

才 胸 郭 変 形 (無 ・ 軽 度 ・ 中 等 度 ・ 高 度)

力 心・縦隔の変形 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)



4 換気機能 (年 月 日)

ア 予測肺活量 $\square \cdot \square\square$ L (実測肺活量 $\square \cdot \square\square$ L)

イ 1秒量 $\square \cdot \square\square$ L (実測努力肺活量 $\square \cdot \square\square$ L) $\square$

イ

ウ 予測肺活量1秒率 $\square\square \cdot \square\%$ ($= \text{—} \times 100$)

ア

(アについては、下記の予測式を使用して算出してください。)

肺活量予測式 (L)

男性 $0.045 \times \text{身長}(\text{cm}) - 0.023 \times \text{年齢}(\text{歳}) - 2.258$

女性 $0.032 \times \text{身長}(\text{cm}) - 0.018 \times \text{年齢}(\text{歳}) - 1.178$

(予測式の適応年齢は男性18-91歳、女性18-95歳であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないでください。)

測定困難な場合はその理由

5 動脈血ガス (年 月 日)

注 安静時、通常の室内空気吸入時のものとしてください。ただし、障害固定後かつ酸素療法開始前の数値がなく、呼吸器機能の低下により、室内空気での検査が不可能な場合は、酸素吸入時の検査数値でもよいこととします。

ア O_2 分圧 $\square\square\square \cdot \square \text{ Torr}$

イ CO₂分圧 ・ Torr

ウ pH .

エ 採血から分析までに時間を要した場合

□ □ 時間 □ □ 分

オ 耳朶血を用いた場合：〔 〕

酸素吸入時の検査数値の場合は
その理由及び検査時の酸素吸入量

酸素吸入量 l/min

6 その他の臨床所見

ア 酸素療法の適用 有（ 年 月 日導入、毎分 吸入中）・無

イ 人工呼吸器の常時使用 有 (年 月 日導入) ・ 無

ウ その他 (SpO2 値の推移等)